

夏休みの過ごし方【令和7年度】

明日から待ちに待った約40日間の長い長い夏休みが始まります。夏休み期間中、楽しいことや長期の休みにしか経験できないことも数多くあると思います。しかし、夏休みは学校や勉強から解放されて気もゆるみがちになり、犯罪被害や事故に遭う危険も高くなります。事件や事故に気を付け、1人1人が意義のある充実した夏休みを過ごすことができるよう、下記のことに注意し、高校生らしい考えた行動をして下さい。

【交通安全について】（オートバイ・自動車・自転車・歩行）

- ・ 交通ルールを守る（信号無視をしない、させない、横断歩道を渡る）。
※オートバイ、自動車、自転車などは制限速度を守るなど、交通規則に従った安全な運転をする。
- ・ 交通事故に巻き込まれないように、道路を横断する際の左右の安全確認を確実に行う。



交通ルールをしっかり守り、自分の身は自分で守る！！
自分は大丈夫、その過信が大事故に！！車両運転は絶対に安全運転を！！

【水難事故防止について】

- ・ 友達同士だけで海や河川などへ泳ぎに行かない（保護者と一緒に行くこと）。
- ・ 遊泳禁止区域では泳がない。
- ・ 一人で行動しない。
- ・ 魚釣りなどで、立ち入り禁止区域や危険な場所へは行かない。
- ・ 気象情報には注意し、波浪注意報等発表時には泳がない、近づかない。

※今年度、水難事故による死亡者が近隣高校で起きています。「自分は絶対大丈夫」ではなく、安全に十分注意し、泳ぐようにしよう！！

【熱中症予防について】

- ・ 活動中は、こまめに水分補給を心がける。
- ・ 屋内では、常に風通しを良くし換気に気をつける。
- ・ 屋外では、帽子を着用し活動する。
- ・ マスク着用時に、暑さで息苦しいと感じた時などには、マスクを外す。



【自然災害等について】

- ・台風接近時には常に情報等に気をつけ、暴風警報発表時には外出しない。
- ・大雨注意報発表時には、河川等で遊泳したり近づかない。
- ・地震発生時には、近くのテーブル等の下へ避難し、その後安全な場所へ避難する。
- ・津波発生時には、近くの学校の屋上や高台、ビルの屋上等、安全な場所へ避難する。
- ・落雷や竜巻注意情報に注意し、その際は外出を控える。

【不審者関連について】

- ・外出の際には、どこへ、誰と、帰宅時刻を確認するよう保護者へ徹底し協力を図る。
- ・未成年者だけで遠出、外泊などをしない（ペンション等への宿泊など）。
- ・不審者を見かけ、危険性を感じたら、警察や周りにいる人、保護者などに連絡をする。
- ・深夜徘徊をしない。※保護者が同伴でも深夜、興行場等に青少年(18歳未満)は入れません。

映画館、演劇場、ボウリング場、ビリヤード場、スケート場、ゲームセンター、カラオケ、インターネットカフェ、漫画喫茶などをいいます！！

※SNS を通じて犯罪被害に遭った生徒が増えています。様々なトラブルに巻き込まれないように気をつけよう！！



1人の身勝手な行動が、みんなに迷惑をかけることになります。高校生として考えて行動して下さい！！

🕒 9月1日(月)には、全員そろって元気な姿で会いましょう 🕒